



▲中学生最後の合唱となった
3年生の皆さん

空まで響いた 生徒たちの歌声

“自分たちの力を十分に発揮する”
と2年生の服田健太郎さん（平）の力
強いあいさつで始まった東白川中学校
合唱フェスティバルが1月26日にはな
のき会館大ホールで行われました。

生徒たちの曲は全部で9曲、各学年
ごとや1年生と3年生、2年生と3年
生、また、のぞみ学級や先生たちの合
唱もありました。

どれも練習の成果が十分発揮された
素晴らしいハーモニーばかりで、客席
のお父さんやお母さんたちから盛大な
拍手が沸いていました。また、生徒た
ちの合唱の合間には、白川高校合唱部
13名の皆さんが6曲を披露、こちらは
風格を感じさせるもので、観客の皆さん
を魅了しました。

“輝け東中の歌、響け空の彼方まで”
のテーマで行われた生徒たちの歌声は
十分空の彼方に届いたことでしょう。



▲一生懸命練習をする生徒たちを見てひそかに練習したという
先生たちの合唱



▲さすがに美しいハーモニーを聞かせてくれた
白川高校合唱部の皆さん

広報

1997
平成9年

2

No.428

ひがししらかわ

人口の動き

—1月末住民登録人口から—	
世帯数	896 世帯
人口	3,301人
転入	7人
転出	3人
出生	2人
死亡	4人

先月と比較して2人増
昨年の同月と比較して
60人減

広報
座談会

丑年の皆さん

VS

村長・議長



出席者

村長 桂川 眞郷

議会議長 田口 哲彦

【昭和12年生】

高井 鋭三さん（黒 渕）

梅田喜久子さん（平）

【昭和24年生】

栗本 重秋さん（柏 本）

桂川ちずるさん（日 向）

【昭和36年生】

木村 恒久さん（上親田）

樋口 綾女さん（中 谷）

【昭和48年生】

田中 伸一さん（上親田）

安江 美果さん（平）

（司会）

企画財政課長 嶋倉 捷司

広報では、今年の干支、丑年生まれの各年代の皆さん8人にお集まりいただき、「21世紀の村づくり」をテーマに提言や意見を述べていただく、座談会を行いました。

輝く田舎ひがししらかわの
21世紀の環境、福祉、文化など
理想的な村づくりをするために…

二十一世紀に向かって

司会 本日は今年の千支、

丑年生まれを代表してお集まりいただきましてありがとうございます。それぞれの夢や村への提言等をいただきたいと思います。ただ今から座談会を始めさせていただきます。

村長 皆さんからご意見を伺いながら、かけがえのない故郷を守って行きたいと思えます。また、二十一世紀に打ち出した輝く田舎東白川構想、自然や田舎にこだわって、これからの新しい時代に向かって行きたいと思えます。

議長 各年代の皆さんに集まっていたいていますが、今日に象徴されますように、これからは若い方から年配の方まで、いっしょになって村づくりをしていく大事な時期に来ていると思えます。ご遠慮の無い、二十一世紀に向かってのご意見をお聞かせください。

司会 それでは、今年一年の抱負などを交え、夢をお聞かせください。

高井 早いもので還暦を迎えました。いがいに早く六十

代に来てしまったのが実感ですが、家族ともども元気でやっています。

梅田 仕事に一生懸命で、あまり村のことに関心の無い生活をしてきました。これからは村民のひとりとして、少しでも協力していきたいと思っています。

栗本 二十代のときは外国へ行くことが夢で、NHKの青年の主張に出て、岐阜県の代表としてヨーロッパへ研修に行きました。三十代は花き栽培の経営を安定することでした。四十代は何も無く、五十歳に手が届くところまで来てしまいました。今年一年は目標を育てる準備の年にしたいと思えます。

桂川 この村に嫁いで十九年目になりますが、生活に夢中で走ってきました。今年はず人といっしょに温泉にでも行きたいと思えます。

木村 今年三十六歳になりますが、いつまでも若い考え方を持っていたいと思えます。仕事については、景気があまり良くありませんので、新しいやり方を今年一年で考えてみたいと思えます。

樋口 村に嫁いで十年になりますが、農業と家庭で半分

を過ごしてきました。現在はふるさと企画で働いていますが、この会社は夢のある仕事が多く、仕事を含めて活気のある一年を過ごしたいです。

田中 この村へ来て三年目になりますが、住むにはこういうところが一番だと思えました。今、国道などを走っていると空缶やゴミがたくさん落ちています。私の出身地下呂町では、グリーン作戦といって年に一度街中のゴミを拾います。中学生のころは、そのゴミを見て腹を立てていましたが、大人になるにつれ、そういう気持ちが薄らいできました。これからは気づいたら拾えるような自分になりたいです。ゴミの無い村になればと思えます。

安江 村へ帰ってきて二年目で、現在、農協に勤めています。早く皆さんの顔と名前を覚えて親しんでいただければと思っています。また、今までは村のことを考える余裕がありませんでしたが、これからは、できる範囲で協力していきたいと思えます。



東白川村長 桂川 眞 郷

快適な暮らしをつくる

充実した環境

司会 それでは今回のテーマは「二十一世紀の村づくり」です。村づくりに対する、ご意見やご提言をください。

栗本 村づくりには二、三年を見据えての村づくりと長期的なものがありますが、最近思うのは長期的なものが必要ではないかと。愛知県の香嵐溪のもみじは、その昔、観光地にするのが目的では無く、気軽な気持ちで植えたのが観光名所になったと聞きました。

村も今からハナノキをいっばい植えたらどうでしょうか。また、それをどのように利用するかは将来の人たちが決めればよいことだと思います。

梅田 村には建物がいっぱいできていますが、管理が大変ではないでしょうか。



村議会議長 田口 哲彦

村長 これは平成元年のアンケートによって、皆さんの夢を実現するように、第二次総合計画の十年でつくってきました。健康、保健、医療、福祉の整備は一番大切でありましたが、はなのき会館やこもれびの館も、文化活動や都市との交流の場として必要な施設であります。ほかの町村レベルにおおむね達したのではないかと思います。

高井 建物がたくさんできているようですが、知らない人が多いのでは。もう少しPRをした方がいい。

木村 学生のころは田舎者と言われるとイヤでしたが、最近仕事で都会へ行くことがありますが、今は逆に田舎をPRしています。また、村の人は人付き合いが上手で、都会の人とも馴染み安い。こうした人の集まった田舎は都会人を受入れ安いと思えます。



高井鋭三さん（黒淵）

村長 大都市へ行くほど通勤時間がかかっているようです。それに比べれば美濃加茂市のあたりは通勤圏で、そのつもりで若い人たちが



梅田喜久子さん（平）

梅田 親と同居するのはいやだから帰らないという話をよく聞きます。仕事は道も良くなっていますし、通勤に一時はどの所に求めればたくさんあります。やはり住宅の問題ではないでしょうか。

ただには、若い人向きの仕事があるのが一番ですけど、仕事が無いわけではありませんが気に入っていただけないようです。

安江 私たちの同級生は村に帰ってきている人が少なく、やはり仕事が無いというのが理由のようです。私は昨年学校を卒業して帰ってきましたが、こちらで就職ができて良かったと思います。そういうことを都会に出ている人たちに伝えてあげたい。また村へ帰ってきている人たちの意見を聞いていただけるよう

な場をつくっていただけたらありがたいと思います。

高井 親が反対しているのではないのでしょうか。また、都会には魅力がたくさんありますから、若い人たちも帰りづらいのでは。ところで曲坂の住宅の入居者は全部決まりましたか。

村長 まだ全部ではないようですが、入居するには条件もありますし、Uターン希望者で仕事が決まらずに帰ってこないという方もみえます。最近、インターンの希望者が多く、そういった方々も世話をしなければいけません。梅田 親と同居するのはいやだから帰らないという話をよく聞きます。仕事は道も良くなっていますし、通勤に一時はどの所に求めればたくさんあります。やはり住宅の問題ではないでしょうか。

も考えていただきたい。

桂川 親としては帰ってきて欲しいですが、二、三年は外の世界も見て欲しいという気持ちもあります。先日テレビで四人目が生まれたら五十万円を出すという村があるようですが。

村長 そういったご意見はたくさんあります。母子センターや病院を先に整備する必要がありますが、今後考えなければいけないと思っています。それより村内の独身男女が結婚をして、子どもを生んでくれることが確実に人口が増えます。

清潔な環境と自然を守る

司会 最近皆さんも感じてみえるようですが、環境に対してご意見がありましたらお聞かせください。

樋口 白川も汚れてきているという話を聞きますが、家庭排水が大きな原因だと思えます。以前は家庭用雑排水の収集マスをみんなで注文して買いましたが、本当に良いものだと思います。最近はその話は聞きませんね。

村長 四月から村に環境課

をつくり、ゴミや山に捨ててある自動車などはきびしく取り締まりをします。また、川をきれいにするには、下水を整備しなければいけません。

一番の問題は家庭排水なので合併浄化槽を皆さんに付けていただくことと平の街は共同下水を整備することです。

桂川 以前は油で石鹸をつくるのが流行っていましたが、もう一度始めれば良いと思います。

栗本 白川をきれいにするには長年かかると思いますが、今から対策を立てて欲しい。また、加子母村との連携も必要ではないでしょうか。

議長 貴重なご意見ありがとうございます。これからの村づくりは行政だけでは手不足、力不足、金不足で民間が補っていかねばいけません。二十一世紀に入れば行政は民間のお手伝いで社会の主導は民間が行うべきです。先ほどの長期的な視野で村を考えると、この代に良いものを残していく必要があります。



栗本重秋さん（柏本）



桂川ちずるさん（日向）

村長 村に変革をもたらす東濃地方への首都機能移転が有力となっており、濃飛横断道路やリニア新幹線の構想も着々と進んでいます。移転をすればその周辺地域は色々な役割があります。今日のご意見はこれからの行政の参考にさせていただきます。健康で安心して暮らせることが今の時代には大切で、こうしたことを踏まえて村づくりをしていきたいと思っています。

司会 長時間にわたりありがとうございました。本日はご苦勞様でした。

成人おめでとう

平成9年1月15日 東白川村



coming of age ceremony 1997.1.15

成人式

今年新成人となったのは、昭和五十一年四月二日から五十二年四月一日までに生まれた四十四人。

一月十五日、成人の日に二十一世紀を担う若者たちの晴れの門出を祝う「東白川村成人式」がはなのき会館において行われ、男性二十三人、女性十八人の合計四十一人が参加し、新成人としての新しい旅立ちに誓いをたてました。

開式を待つロビーでは色鮮やかな振り袖姿と身も引き締まるようなスリー姿の新成人たちが、久しぶりに逢う少し大人びた幼なじみとの再会を味わっていました。

十時三十分からホールで行われた式典では、安江将行さん（真正町・大明神）が「成人として強く正しく人生を歩いていく」と代表で誓いの言葉を述べたほか、たくさんの方の来賓の皆さんが温かいご祝辞を述べられました。

また、新成人たちへ村からの記念品と東白川村観光協会からはハナノキの苗が贈られました。

式典では少し緊張気味だった新成人たちも、そのあとの会食では、すっかり同窓会気分。記念写真を撮り合うなど終始和やかな雰囲気が続きました。

午後からは、恒例となった笹俣良昭さん（日向）、幸脇直人さん（岐阜市）、宮脇政貴さん（岐阜市）、



代表で誓いの言葉を述べる安江将行さん

新成人意識調査

今年も広報では、成人式参加者四十一人に対し、意識調査を実施しました。今年の新成人の住まいは、村内の十人に対して、三十一人が村外に在住しています。また、現在の立場は、学生が二十人、働いている人が二十人、無職が一人となっていました。

村に対する好感度は、左表のように

藤井久美子さん(美濃加茂市・大沢)



今まで学生でしたが社会人になって色々な人と接し、視野を広げていきたい。

田口房国さん(東京都・陰地)



周りのことを考えて、責任ある行動を取り、自分らしく頑張っていきたい。

安江佐和さん(岐阜市・西洞)



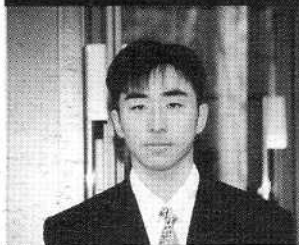
育てていただいた親や周りの人に感謝し、これからは行動に責任を持って社会に貢献したい。

安江 修さん(岐阜市・中谷)



成人を迎えて、色々なことが今までとはちがった視点で見えていけるように努力していきたい。

桂川英記さん(岐阜市・日向)



今まで育てていただいた皆さんに感謝し、期待に応えられるよう努力していきたい。

今年めでたく成人を迎えられた方は次の皆さんです。(敬称略) ☆は村内在住

【平】栗本恵介(忠行)・小池直之(正憲)・服田武久(鎮子)・吉村友宏(隆男)・田口香織(武)・☆古田奈美(勝彦)

【下親田】渡邊貴之(昭彦)

【上親田】田口知和(実)・安江清文(利英)・安江孝子(康助)・安江千夏(光昭)・安江めぐみ(義勝)

【中通】☆高井友和(吉男)

フルート・ダ・モーレの皆さんによる演奏会を鑑賞。フルート・ピアノ、チェロの美しい音色に包まれながら、これからの希望に満ちている様子でした。



フルートとピアノの美しいアンサンブルを聞かせてくれたフルート・ダ・モーレの皆さん

安江美知子さん(千葉市・神付)



社会人として今まで以上に責任を持ち、社会の一員として活躍していきたい。

【神付】村雲かおり(勝也)・村雲加代子(當正)・安江美知子(啓次)

【中谷】安江修(美好)・☆樋口康子(靖時)

【加舎尾】大坪友秀(恭二)

【西洞】安江佐和(司)

【曲坂】仲澤樹征(忠利)・☆安江史浩(貞行)・☆安江昌博(定武)・今井千絵美(章)

【日向】桂川英記(晴雄)

【陰地】田口房国(和志)

☆安江和隆(敬吾)・安江忠孝(忠昭)・☆菊田冬子(正)・☆田口ゆかり(翼信)

【板山】安江忍(春幸)・安江理香(好成)

【大明神】松岡康文(公男)・安江将行(晴夫)

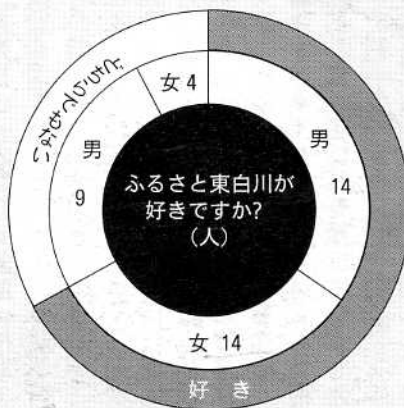
【柏本】☆安江伸英(正雄)・今井美香(和好)・土井利佳(信行)

【宮代】今井秀成(敏春)

【大沢】☆今井孝昌(和義)・今井友秋(福次)・今井沙保里(保都)・藤井久美子(一二三)

【下野】今井麻里(直美)

【大阪】喜屋武朋枝



約7割が「好き」と答えています。その理由は、「自然が豊か」「ホッとする」といった答えが多くありましたが「将来、住みたいですか」との問いに対して、「住みたい」と答えた人は、わずか七人。村を生活の場としてではなく、休息の場として考えているようで今後、「若者定住」を考えるうえで、若者の意識を変えることができる対策が必要といえるようです。

元気村の『出来事情報』



小さいころはよくついて来たカモたち。今はエサのときしか来ないという中道の村雲真弓さん

で銃の登録も義務づけられています。また、自然保護のために「むやみに撃つことは無い」と会長の安江誠さん（大明神）。安江さんたちは有害鳥獣の駆除にも活躍しています。



人間の4,000倍の嗅覚を頼りに隠された「キジ」を探す猟犬

には、西洞の山中で岐阜バードハンティングクラブの皆さん十八名が参加し、狩猟技術の訓練を兼ねた猟犬の訓練講習会が行われました。このクラブは岐阜県下の猟友会員の中で、鳥猟を行う八十名の皆さんで組織されており、村内でも五名の方が会員になっています。今回の講習会はおもに狩猟経験の浅い、若い猟犬の訓練が中心で、茂みに隠された「キジ」を猟犬が捜し当てた瞬間に「キジ」を放し、銃で撃つというもの。しかし、銃を扱うだけに危険とは背中合わせ、安全確認には神経を注いでいました。こうした狩猟を行うには免許が必要

訓練を重ね 腕を磨くハンターたち

訓練

スポーツには様々なものがあります。最近では「狩猟」もスポーツのひとつとして愛好家が増えており一月十九日



おいしそうに食べる生徒たち

士、松山七絵さんが「手作りのテーブルクロス」を用意してくれるなど雰囲気づくりにも気配りがしてあり、ミーティングルームは、さながらホテルのパーティのようでした。

生つばをググンと飲み込むほど、見るも鮮やかな料理が中央のテーブルに。これは一月十三日の東白川中学校ミーティングルームで三年生を対象に行われたバイキング給食の様子です。このバイキング給食は、生徒たちが将来、社会に出てひとりで生活を始めるための、「料理の栄養価や食事のマナーを身に付けておく」といった目的で行われたものです。並べられた料理は、何と二十八種類。「毎日だと飽きるが豪華でいい」と安江千草さん（中谷）、生徒たちには好評のようでした。また、各テーブルには、給食センターの栄養

生徒たちに好評 バイキング給食

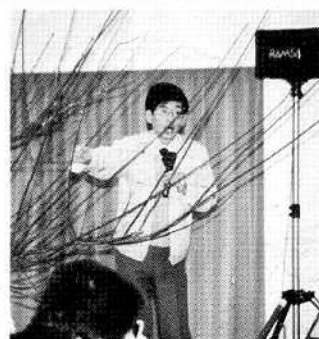
豪華



種類が多すぎてどれにしようか迷ってしまう

梅とリンゴの産地へと 期待が膨らむ

講座



梅の木で熱心に説明をする高木晃氏

「村を梅とリンゴの産地にしよう」と岐阜県農業総合研究センターから専門技術員の高木晃氏を講師に招いて、「いきいき農業講座」梅とリンゴの栽培講習会が一月二十三日にはなのき別館ふれあいホールで行われました。

この講習会は、今回で三回目。今回はおもに剪定の仕方について行われ、高木氏は「植栽してから三年から五年の剪定でその木の将来が決まる」と剪定の重要性をアピール、参加した三十二名の皆さんはホール内に持ち込まれた梅の木を使った熱心な説明に耳を傾けていました。村には、立村百年を記念に村と農協によって各戸へ梅の木が配布されており、ほとんどの家に梅の木があります。また、平成五年からはリンゴの木を村があつ旋し、四十八戸の農家で栽培されています。

こうして栽培された梅やリンゴが、トマトジュースの原料になる夏秋トマトに続く「村の特産品」に育つように昨年には梅とリンゴの生産組合も設立されました。今後、この組合が飛躍するとともに、村が梅やリンゴの新しい産地になることに期待が持たれます。

話題集まれ!

飛躍

目指せ!!
未来のJリーガーを



熊崎昭彦コーチの指導で
熱心に練習をする子どもたち

「二〇〇二年のワールドカップサッカー」の開催国として全国が沸き返る中、本村の少年たちも未来のJリーガーをめざして頑張っています。村では、平成七年一月に小学校三年生から六年生までを対象にした「東白川アース」と中学生を対象にした「東白川サンズ」を結成しました。

サッカー人気も手伝って結成メンバーは三十六人と、当初の予想をはるかに上回ってスタートしたこの二チームは、テレビなどでルールこそ知っているものの、そのほとんどが素人の子どもたちばかり。しかし、結成以来、毎週金曜日に行う練習の成果が最近花を開き始めました。

昨年十二月のJAみのかもカップの大会では、五年生と六年生チームがなみいる強敵を下し、見事に入賞。メンバーも五十二人に膨れ上がり、「今年こそは優勝」と練習に熱が入っていました。



JAみのかもカップ少年サッカー選手権大会で準優勝した5年生と3位の6年生

教室

タダの石ころが
芸術作品に!!

あちこちに落ちて
いる石
や木片で
も、少し
手を加え
れば自分
の宝物に。
そんな
石を使っ
たデザイン、



器用に「牛」を描く上親田の木村文香さん

が一月二十七日と二十八日の二日間にこもればこの館で行われ、延べ十一名の皆さんが参加しました。

この教室は、室内で手軽にできるイベントを通じて「村民の皆さんにこもればの館をもっと親しんでもらおう」とふるさと企画が数々の教室のひとつとして行ったものです。

このストーンアートは、石に特殊な絵の具を使って筆で絵を描くもので、参加した皆さんは今年の干支でもある「牛」をテーマに思いおもいに自分たちの作品を描いていました。

ストーンアート教室



「牛」をテーマに作られた皆さんの作品
どれもこれも芸術作品です

参加者のひとり
上親田の田口良子
さんは「前回のリ
ス教室がおもしろ
かったから」と今
度も参加。このこ
もればの館はこ
したイベントなど
で村内外の皆さん
のふれあいの場と
なっています。

教育

子どもには
ビタミン愛を!!

地域、家庭、学校など「村ぐるみで子どもたちを育てよう」と本年度から始まった「個性化教育実践事業」の中で、四回にわたって行われる「いきいき家族の子育てゼミナール」の第一回目が一月三十日に役場別館大集會室で行われました。

講師には、美濃加茂市から保護司として、多くの青少年たちを非行から立ち直らせた実績を持つ西田栄代先生を迎え「親でなければ出来ない教育」と題した講演が行われました。

講演は、西田先生が今までに自分が携わってきた事例をもとに、時には楽しく、時には真剣に話をされ、参加した六十五名の皆さんに感動を与えていました。

西田先生は、特に最近の家庭の様子を例にあげ「子どもは親の悪い所もマネをしている」と指摘、「お父さんのたくましさとお母さんのやさしさを与えてほしい」と熱弁を奮われました。参加した皆さんは、西田先生の話されることにうなずきながら納得しているようでした。

最後に西田先生は「子どもにはたくさん愛をあげてください」と話されました。



「親でなければできない」と熱弁を奮う西田栄代先生。

なごやか村の『人情報』

お便り

「一番帰りたい故郷」

(京都市・平)

田口香織



田口香織さん
(成人式にて)

この先、どんなに村が変わっても、私にとって「一番帰りたい故郷だ」ということは変わらないと思います。

東白川村の皆さんこんにちは。お元気ですか。私は今、京都で学生生活最後の時を過ごしています。二年前、生まれてから十八年間離れたことがなかった村を離れ、こちらで一人暮らしを始めました。知らない人に囲まれた生活で、慣れないころは寂しくて何度も村へ帰りたいと思い、次に村へ帰れる日が待遠しくなりませんでした。今ではこちらの生活にも慣れ、楽しい日々を過ごしています。先日、成人式で帰省したとき、二年前とは違う村の姿に驚き、その反面「ここも変わっていくのかなと寂しくも思いました。私の知らない道、私の知らない建物」。しかし、二年前と全然変わっていないものがありました。それは村の皆さんです。「元気でやってる?」とか「学校おもしろい?」とか、明るい笑顔と温かい言葉。私はこの故郷があったから頑張れたんだと感じました。

「華道」にはたくさんさんの流派がありますが、この会の流派は山月流です。「花の特性を生かし、自然を生けるのがこの流派の特徴」と話してくれたのは代表者の村雲春子さん(西洞)。この日、参加していた九名の皆さんは、春子さんの指導を受けながら梅や草花を真剣なまなざしで花器に生け、その様子はまさに「女性らしさ」を醸し出

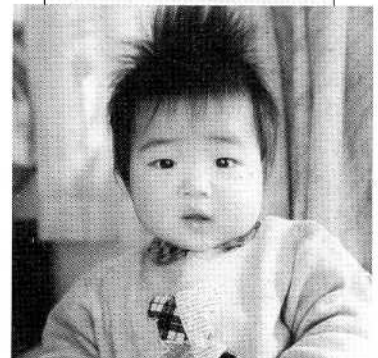
「女性らしさ」を演出してくれる代表的な文化系サークル、「華道」の山月会を訪ねました。この会に所属しているのは現在十名。月に三回、水曜日に役場別館婦人の部屋で勉強会を行っています。



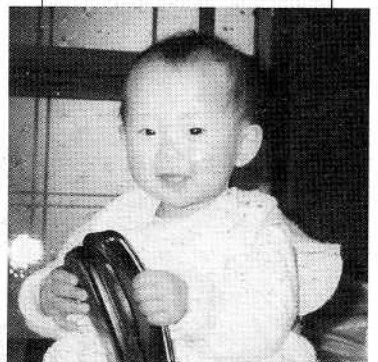
わが家のスター



このコーナーの子どもたちみな同じ年。
10年後、20年後「広報」をみればはう!
1歳のあの子の顔が...



▲安江郁哉ちゃん
(好久さん・智恵美さん
=平)



▲小池佑花子ちゃん
(謙多郎さん・康予さん
=平)



山月会の皆さん(役場別館婦人の部屋にて)

「華道」は心にやすらぎを与え、ストレスの解消にもなるといいます。「腹が立っているとき、花に向かうと落ち着く」と話すのは安江昌子さん(平)。また、参加していた皆さんも「優しくなれる」と話してくれました。こうして磨かれた山月会の皆さんの作品は、役場、学校、白川口駅などに飾られ、多くの人たちの目を楽しませてくれます。

みんな仲間だ！

消息

1月1日～1月31日

(敬称略)

●誕生おめでとうございます。

(陰地) 松岡 昭信 } な々
佐知子 }
(柏本) 田口 昌克 } ゆきな
ナンシー }
サンタロサ }

●おくやみ申し上げます

安江ミツエ 87歳(黒渕)
今井 晴子 81歳(柏本)
安江 うた 80歳(陰地)
安江イツェ 93歳(平)

職場から

丸登建設

自動車の運転手にとって、この時期最も気を付けなければならないのは、やはりスリップ事故。こうした事故を防止するために融雪剤をまいてくれるのは土木会社の皆さんで、中でも今回は丸登建設を訪ねました。

丸登建設が担当している道路は、下呂～白川線の平から白川町境までと恵那～蛭川線。まくのは朝と晩で天候の都合でまかれるそうです。

この仕事を担当している上親田の額縁孝幸さんは、毎朝5時ごろから村の人たちの安全を願ってまいてくれています。孝幸さんは「融雪剤を過信しないで、常に慎重に運転してほしい」と話してくれました。



今回は昨年十一月に大阪からIターンでこの村に来られた大明神の福原さんご一家を訪ねました。
福原さんご一家は、ご主人の喜三郎さん、奥さんの千代さんそしてお孫さんの喜浩君の三人家族。「定年退職をしたら田舎で暮らしたい」と考え、各地を

所付き合いも「皆さん、たいへん良くしてくれて」とどうやら取り越し苦労だったようです。小学校へ通う喜浩君は友だちも大勢できて、最近では言葉も変わったそうです。
この村がお気に入りの福原さんご一家は「このままここに住みたい」と話してくれました。

2 ツーショット +1
1ターン家族



福原喜三郎さん・千代さん・喜浩さん

探された結果、この村に決められたそうです。
「大自然に囲まれて最高」とこの村の印象を語る千代さん。春になったら山菜採りや野菜づくりをするのが楽しみとか。

心配していた近

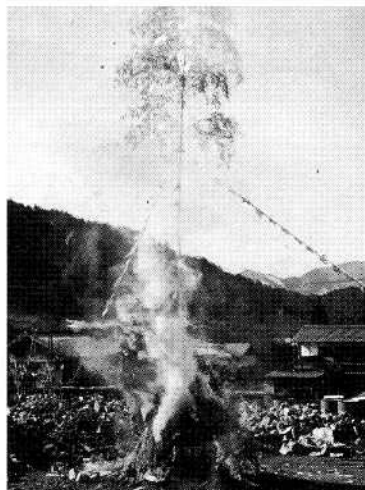
ホットアングル



この左義長には、言い伝えがあり、たき火にあたりと災難除け、書き初めを燃やして高く舞い上がると字が上達すると言われています。この左義

お正月の風物詩といえば左義長もそのひとつ。今年も各集落で子どもたちが朝早くから家々を回り、しめ飾りや古い神札などを集め、河原や空き地で左義長を行いました。

長も、昔は子どもたちの楽しみの行事でもあったようですが、最近では親が中心で、子どもたちに向かって「おまえたちがやるんやぞ」といった声も飛んでいました。
しかし、餅を焼いて食べるときはいっしょで、おとなも子どももおいしそうにほうばっていました。



知ってほしい『生活情報』

社協から

義援金のご協力
お願いについて
社協では、深刻化する日本海ロシアタンカー重油流出事故に対し、重油の収集作業などのボランティア活動を支援するため義援金を募っております。

役場窓口・JA

窓口・JA越原・

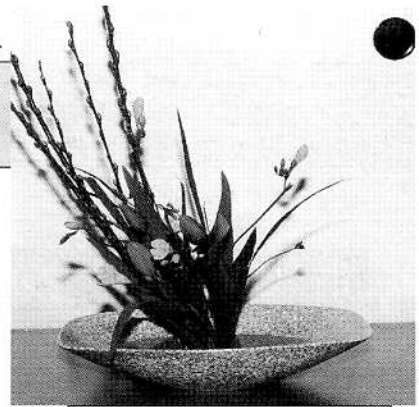
保健福祉センター

に募金箱を設置し

ておりますのでご

理解とご協力をお

願いたします。



山月会の伊藤貴代子さん(平)の作品

課題を追う三

生きがいづくりの 現場で働く人々

Ⅱ お年寄りの生きがい(2) Ⅱ

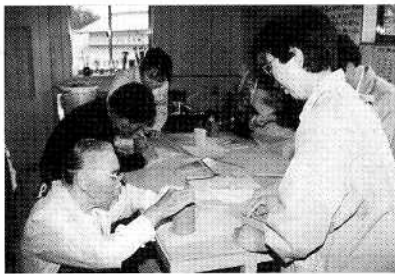
お年寄りの生きがい育てに、大きな役割を果たしている「せせらぎ荘」は、村から、東白川村社会福祉協議会へ運営を委託されています。社会福祉協議会は「社会福祉法人」という、村とは別の団体で、せせらぎ荘での老人デイサービス事業を村に代って全面的に行っているわけです。

ところが、せせらぎ荘は本来、介護を必要とするお年寄りを対象にしたものです。村にはそのほかに、特に介護を必要としない健康なお年寄りや、多少の故障はあってもまだまだ丈夫なお年寄りがたくさんみえます。

七十歳以上のそうしたお年寄りに色々な体験をしてもらって、生きがいづくりのお手伝いをしようというのが、「高齢者生きがい事業」です。

これは何と、村や村民の皆さんの出資によってできた、株式会社「ふるさと企画」が、村から委託を受けて実施しています。送り迎えをするバスの運転も、食事を作る人も、陶芸や軽スポーツなどをお世話する人も全部ふるさと企画の職員で、どうやったらお年寄りの皆さんに楽しく生きがいを見つけてもらうかと頭をしばっています。

村の事業をなぜこのように委託するかというと、年々増えてくる事務や事業を、村の職員を増やして行うよりずっと効率的に実施できるためで、社会福祉協議会やふるさと企画は、村の人達に大きな貢献をしています。



高齢者生きがい事業



▼本格的なのに短時間でできるだし汁▲

まず広口容器を用意します。

水またはぬるま湯二リットル、昆布三十センチかつお節(小さなパック)十パック干椎茸八枚(水に戻して二センチの厚みに切っておく)を入れ、冷蔵庫に五〜六時間おけば、おいしいだし汁ができます。

昆布だけはぬめりが出る前(二日で)に取り出しますが、汁が減ったら水を補充しながら色がつかなくなるまで使え、冷蔵庫で十日ぐらいは保存が可能です。

吸物には原液を二倍くらいに薄めて、また煮物には三倍に薄めて使います。市販のインスタントだしに比べ風味が良くまろやかな味わいがありますので常備しておく、とても便利です。

▼プラス一袋で、鮮度と栄養を保ちます▲

鮮度が命の葉の野菜、青菜と言えはうれん草ですが、新鮮でみずみずしい状態を少しでも良く保つにはどのように保存すれば良いのでしょうか。

お店にあるものをよく見ると袋に入っていないのが、葉の側からもビニール袋をかぶせること。更に袋の底に水を足し、土に埋まっていた状態と同じように立てて冷蔵庫に保存することです。

こうすると水が均等にゆきわたり鮮度が保てます。常温保存した場合翌日には、ビタミンCが半減します。保存方法によって栄養素の量が変化しますので、食品の保存方法を一度チェックしてみたいかがでしょうか。



行政の窓口

ありがとう
ございました

御寄付 (敬称略)

【社会福祉協議会】

現金10万円＝安江満久 (平)

現金10万2千円＝匿名

現金1万9千円＝匿名

古切手＝田口和志 (陰地)

古切手＝今井かな (神付)

古切手＝匿名

タオル他＝日赤奉仕団

【医療機器整備指定】

現金5万円＝安江只文 (黒淵)

【小学校図書指定】

現金3万円＝安江眞理 (神付)

【役場別館指定】

座布団カバー20枚＝山月会

【東白川小学校】

茶摘み用ひご70個＝安江操 (日向)

【五加保育園】

子供用自転車1台＝祖父母有志一同

“かぜは万病のもと”

かぜは万病のもとといわれます。確かにかぜをきっかけにして、いろいろな余病をおこしたり、持病が悪化したりすることも多いようです。

かぜは、そのほとんどがばい菌よりもっと小さいウィルスによって起こります。ばい菌に効く薬はたくさんつくられています。が、ウィルスの特効薬はまだありません。それでは、かぜから身を守るためにはどうすればよいのでしょうか？

かぜ予防の4カ条

①かぜのウィルスに近づかないようにしよう。

流行時には人ごみには出ない。外出から帰ったらうがいや手洗いをする。

②かぜのウィルスに出会ってもかぜにかからないよう体力をつけておこう。

規則正しい生活、睡眠休養を十分に。

③かぜにかかってしまったら早く治すようにしよう。

栄養を十分にとり、暖かくしてあせらずゆっくりからだを休める。

保健婦だより

国民年金は

お得で便利な前納で！

「毎月毎月納めるのは面倒だ」「うっかり納めるのを忘れてしまう」こんな人に国民年金の前納をおすすめします。

定額保険料を納めている方は、

毎月納付した場合、年間一五三、六〇〇円

四月前納した場合、年間一四九、八九〇円

差し引き三、七一〇円のお得です。

付加・定額保険料を納めている方は、

毎月納付した場合、年間一五八、四〇〇円

四月前納した場合、年間一五四、五七〇円

差し引き三、八三〇円のお得です。

さらに、抽選で能登や浜島などの国民年金福祉施設のペア宿泊券を十組二十名様、テレホンカードを千名様にプレゼントします。

前納をご希望の方は、三月十日までに役場住民課有線二一六二までご連絡ください。

正しくお早めに確定申告

申告相談日程

【相談場所：役場別館 老人の部屋】
【相談時間：午前9時から午後4時30分】

月 日	対象集落	備 考
2月17日(月)	柏本・久須見	☆期限までに申告されないと加算税(金)などがかります。指定日に都合の悪い人は、ほかの日で結構ですので、お早めにお済ませ下さい。
18日(火)	宮代・大沢・下野	
19日(水)	曲坂・栃山	
20日(木)	中谷・加舎尾	
21日(金)	日向1～4班	
24日(月)	日向5班 陰地1～3班	【持ち物】 ◎ 印 鑑 ◎ 筆記用具 ◎ 各種証明書 ・保険料支払証明書 ・水稻被害証明書 ・医療費領収書 ・森林施業計画書写し ・源泉徴収票 など
25日(火)	陰地4～6班	
26日(水)	黒淵	
27日(木)	大明神	
28日(金)	※この日は税務署から通知のあった方のみを対象とします	
3月 3日(月)	中通	
4日(火)	上親田	
5日(水)	下親田	
6日(木)	神付	
7日(金)	西洞	
10日(月)	大口、平1～3班	※なお、2月28日の相談場所は、役場別館大集会室です。でお間違えないようお願いいたします。
11日(火)	平4～8班	
12日(水)	平9～12班	
13日(水)	※前日までに申告の済んでいない方	
14日(金)		
17日(月)	申告、国税納付期限	

輝く田舎の『文化情報』



「鬼は外福は内」と園児たちの豆まき

旬^{しゅん}の話^の 奥の細道

月日は百代の過客にして……あまりにも有名な書き出しで始まる「奥の細道」の原本が、三百年の眠りから覚めるように、大阪市内で発見されたのは、昨年十一月のことでした。

俳聖松尾芭蕉手書きの原本が、よくも今日まで残っていたものです。

元禄二（一六八九）年三月、江戸深川を発ち奥羽・北陸を経て美濃大垣まで、五か月二千四百^{キロ}に及ぶ俳諧紀行文「奥の細道」は、日本を代表する紀行文学の傑作と言われています。

閑かさや岩にしみ入る^{きみこ} 蟬の^{せみ} 声

五月雨をあつめて^{あつめて} 早し最上川^{もがわ}

元禄二年九月、大垣に達した芭蕉は「蛤のふたみに別れ行く秋ぞ」という結びの句を残して旅を終えました。

今でもテレビでは「旅番組」が盛んに放映され、未知の土地への人の探求心をそそいでいます。映像の無かった元禄時代、芭蕉の紀行文がいかに人々の心を躍らせたことでしょう。

梅が香にのつと日の出る山路かな

私の作品

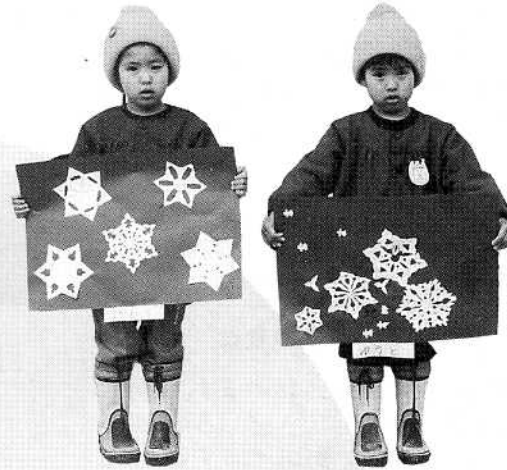
首尾一貫

▲書き初め
村雲真美さん（西洞）
東白川中学校3年生

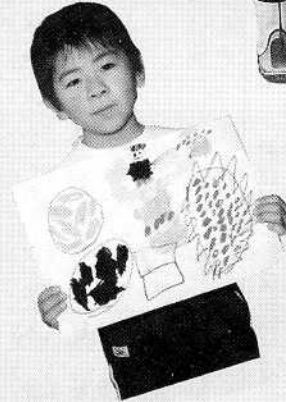


精神到何事が成らざらん

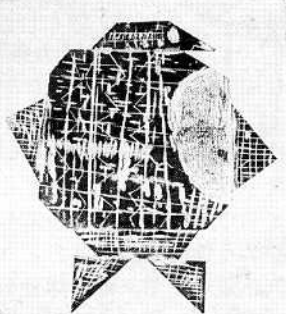
▲書き初め
古田純平さん（西洞）
東白川中学校3年生



▲切り絵「ゆきのけっしょう」
五加保育園年長組
左側 安江健人ちゃん（柏本）
安江優人ちゃん（柏本）



▲「正月のごちそうづくり」
大坪隆吾さん（平）
東白川小学校1年生



▲版画「傷だらけのペンギン」
安江悠里さん（神付）
東白川小学校4年生



▲陶芸「湯飲み茶わん」
高木ツルさん（黒淵）
高齢者生きがい事業



▲陶芸「湯飲み茶わん」
梅田きくよさん（平）
高齢者生きがい事業

心のオアシス

東白川村百科

白川

村名の由来ともなっている「白川」は村の中央部を北東から南西へ流れています。

源流部は隣村加子母村の三国山と小秀山の間であり、加子母村では加子母川と呼ばれながら、万賀からその流れの向きをおよそ90度変えて東白川村へ流れ込んで来ます。

この急角度の川の折れ曲りは、地震活動によって生じた阿寺断層によるものと言われています。

川の石が濃飛流紋岩と呼ばれる白っぽいものが多く、水が清らかなことから「白川」の名がつけられたようです。

加子母村境と、白川町境、大沢波反の白川の高低差は170m、流域の日向、陰地、平、下野、宮代の各集落は白川が運んで来た土砂などの沖積によって出来た平地で、逆に大沢、柏本、大口などは侵蝕された傾斜地です。

村内の白川の流長は13.8km、この間に前述の集落があり、その戸数を数えるとおよそ480戸、村の半数以上の世帯が、白川に接し、あるいは白川を身近かに感じながら毎日の生活をしていることになります。

俳句

汚職日々今日は官界日の短か
寒夕焼美しきかな過疎にして
雪降るや山へ入れず空仰ぐ
ほの暗し山神祭る冬の朝
年賀状並べて浮ぶ友の顔
一年を無事にと祈る初日の出
鏡餅供へて齡重ねけり
七草粥に眼鏡をくもらせる
行く年や行事重ねて暮迫る
山茶花の古木大樹蔵かくす(大口アゼチ)
トンネルでとぎれし話山眠る
寒灯やひと日を無事に妻戻る
指切りし縁起を結ぶ鏡餅
初夢や橋龍総理と握手せり
初詣今年も吉蜘蛛降り来る
つややかな若穂出でけり群芒亡

日向	安江	一滴水
栃山	安江	市助
神付	村雲	とみ子
下野	安江	乙村
平	安江	武子
栃山	桂川	喜郎
平	今井	統子
右同		

あなたも作品をお寄せください—初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。奇数月の20日までに神土河田重喜宛に出して下さい。

初明り神木まつすぐ天を指す
佐儀長の青竹が爆ぜ火が走る
恍惚と逝きし夫なり夕時雨
沈丁花に想い出残る夫の指
看取る日々姑は九十五の新春迎ふ
七草や羽子板柚子の香り添ふ
吉祥の雲の下なる大左義長
衰へし視力に光る寒の月
型古き鉄瓶を飾り去年今年
雪みちへ鳥や鳥合の衆をなす



「よい夫婦『胸キュン』のひと言」

斎藤 茂太 著

素直な、ストレートなそしてユーモラスな、ちょっとした「夫婦の会話」を集めました。言葉は愛である。メシ、風呂ぐらいしか言葉に出さない仏頂面をした亭主が、ある日「長い間ご苦労だったね」などと驚天動地の言葉を発したときの妻の驚きと喜びと感動が……!!

「ゆきのひのゆうびんやさん」 こいで たん 著

そとはゆき。三びきのこねずみが、あたたかいへやのなかであそんでいました。そこへゆうびんうさぎさんが、こづつみをとどけにきました。「ぶるる、はっくしょん」。ゆうびんうさぎさんはかぜをひいてふらふらしています。「ゆうびんはぼくたちがはいたつします」。

曲坂	菊田	清美
中通	村雲	みか子
平	安江	すみ
日向	田口	秋映
西洞	河田	重喜

ゆきのひの
ゆうびんやさん

よい夫婦
胸キュン

おし らせ

連絡
募集
行事

農作業ヘルパーを 求めています

本村は、「お茶」「夏秋トマト」「夏秋なす」といった作物が盛んで、専業農家では農繁期に人手が不足し、規模拡大ができない状況にあります。

村ではこういった時期に「お手伝いしてもいい」という方々を登録し、労働力不足に困っている農家に対して人材情報を提供する人材バンクを設置しました。先月、農業委員さんを通じて、各集落の人材調査をお願いしましたが、調査表を出し忘れた方や調査のときは「その気がなかった」という方で登録されたい方はどうぞご連絡ください。あなたの余裕のある時間や身に付けた技能などを有

効に生かしてみませんか。
■連絡先／役場農業委員会
有線二一六一

春季火災予防運動

「便利さに慣れて忘れる火のこわさ」を標語に、平成九年三月一日から七日までの七日間春季火災予防運動が実施されます。

- 一、家のまわりに燃えやすいものを置かない。
 - 二、寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
 - 三、天ぷらを揚げるときはその場を離れない。
 - 四、風の強いときは、たき火をしない。
 - 五、マッチやライターは、子どもの手の届かない所に置く。
 - 六、電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
 - 七、ストーブには、燃えやすいものを近づけない
- もし火災が発生した場合、従来までは本村からN.T.T. 一一九番をかけると白川町の東消防署で受信していた

ものが、四月一日からは美濃加茂市の可茂消防本部での受付に変わります。本村からは「東白川村の〇〇〇」と通報をお願いします。また、火災など災害情報の問い合わせは、テレホンサービス〇一八〇—九九—五五〇〇でお願いします。

六十歳以上の定年制の義務化について

平成十年四月一日からは定年制については六十歳以上とすることが義務になります。具体的には次のとおり。
平成十年四月一日前に定年制を設けている事業主
一、定年が六十歳を下回る場合は六十歳以上に改めてください。
二、定年が六十歳以上である場合は問題ありません。
平成十年四月一日前に定年制を設けていない事業主
一、新たに定年制を設ける場合は六十歳以上としてください。
二、引き続き定年制を設けない場合は問題ありません。

岐阜県知事 選挙結果

二十一世紀の県政を占う岐阜県知事選挙が二月二日に行われ、注目されていた投票率は岐阜県下では四五・四四％と過去最低の記録となりました。本村でも前回を二・一九％下回る七七・三六％となり、投票率八〇％を目標に掲げていた本村にとって少々残念な結果となりました。

なお、選挙の結果は次のとおりです。
投票総数 二、〇二六票
有効投票 一、九八八票
有効投票の内訳
梶原拓 一、六四四票
松本稔 二四五票
近藤まさたか 九九票
投票所別投票率
神土 七八・六五％
神付 七七・六四％
越原下 七四・九五％
越原上 七七・二二％
五加 七七・七五％
集落別では加舎尾の八九・〇六％が最高です。



こぼれ話

スケジュールにインフルエンザまで入れている人はいない。かかると、いくら大事な仕事があってもあの強烈な症状には勝てない。▼自分も今冬は、年末から年始にかけてこれにかかってしまった。今年の風邪は長引くと聞いていたが、なるほどいつもなら一週間位で治るところが二週間ほどかかり、熱は出なかったがせきが出た。▼この冬の風邪の多くは、「A香港型」で例年のウイルスより繁殖力が強く、せき、のどの痛みや長引くのが特徴で、一昨年の大流行と同じタイプらしい。▼また、大人のかかる割合が高くて、特に抵抗力の弱い高齢者は注意が必要のようである。▼この稿の出る頃にはピークも過ぎていると思うが、医師の話では「風邪の予防としては、うがいや手洗いを励行し、栄養と休養と睡眠を十分に取ることが最大の防衛策。そして、部屋を乾燥させないことも大切」である。▼春とは言えまだ風邪の季節でもあり、自己管理を怠らないようにと思っている。

(D)



再生紙を使用しています